

鼻に噴霧するタイプのインフルエンザ生ワクチン「フルミスト」(輸入製剤)

★フルミストとは

フルミストは従来日本で行われている注射による不活化ワクチンではなく、生きたインフルエンザウイルスを人体に害がないように弱毒化させ鼻の粘膜に吹き付ける生ワクチンです、鼻の粘膜に直接免疫をつけることで発症予防効果が高くインフルエンザウイルスの侵入そのものを阻害でき、さらに全身の粘膜へ IgA 抗体を誘導し、防御する効果と免疫効果も1年と従来のワクチンより長期持続が期待できます。また、弱毒化をした生ワクチンを使用する為、自然感染に近いと言われ、流行する**インフルエンザのウイルス株が違っていても、重症化を防ぐ可能性がある**と言われていています。このウイルスは低温で増殖しやすく、高温では弱いため、比較的低温の上気道(鼻・のど)で免疫効果があり、比較的高温の下気道(気管支・肺)では病原性が弱まるため、重篤な副作用はありません。アメリカでは 2003 年より5～49才の妊娠中ではない健康な人に接種できるようになり、2007 年には2～49才に拡大され、アメリカでは 10 年以上の使用実績があり、2011 年以降欧州でも使用されています。

しかし、まだ日本での承認はなく、輸入ワクチンのため、副作用が出現した場合には

医薬品副作用被害者救済制度が利用できません。

※医薬品輸入業者の定める保証制度となります。

接種方法

鼻の左右両穴に液を 0.1ml を直接噴霧する方法の為、

接種時の痛みが皆無で2歳から49歳が接種対象です。

接種回数は原則1回接種です。(但し2～8歳でインフルエンザワクチンを1回も接種経験がない方は、1か月間隔で2回接種が進められています。)

副反応

生ワクチンの為30%～40%の方は接種後3日～7日まで、鼻炎症状が出現し、咽頭痛、咳など軽い感染症状を数日認める場合があります。

また、2歳未満への投与では入院と喘鳴の増加が認められたため、2歳児未満の子どもへの投与は認められておりません。

子どもでよくみられる副反応 鼻水、鼻閉、頭痛、筋肉痛、喘鳴、腹痛、嘔吐、発熱



フルミストが接種できない人

- ①2歳未満と50歳以上の方
- ②過去1年以内に喘息発作を起こした人
- ③妊娠している女性（授乳中は問題ないとされています）
- ④心臓病、呼吸器病・ぜん息、肝臓病、糖尿病、貧血、神経の病気などの慢性の病気がある方
- ⑤免疫不全の患者さん、重い免疫不全の患者さんの家族や看病する人
- ⑥アスピリンを長期内服中のお子さま、重い卵アレルギー、ゼラチンアレルギー、ゲンタマイシンやアルギニンにアレルギーのある方
- ⑦過去、ギランバレー症候群（足に力が入らなくなり、立てなくなる病気）になった人
- ⑧接種当日、鼻汁、鼻閉、大泣きしている子供さんなど鼻炎症状のひどい人（ワクチン液が流れ出てしまったため）

フルミストの接種がお勧めの方

- ①受験生（効果が長期持続するため。）
- ②5～13歳の健康なお子さま
（注射に病的な恐怖感を持っている子供さんは特にお勧めします。）
- ③赤ちゃんのご両親（フルミストを接種したご両親から、赤ちゃんにインフルエンザが感染することはありません。）

予約方法・接種時間

フルミストは50本限定ですので、**10月1日より直接又は電話で職員が予約受付**をします。

ワクチンを確保した後、接種日と時間を決めて予約を入れていただきます。接種は10月中旬より可能で、11月中に接種をお勧めします。（1年間効果がある為）

予約は受付時間内に当院係員へ直接ご連絡ください。

接種時間は、通常の診察時間に限らせていただきます

接種料金（1回目・2回目・全年齢共通）

※過去にインフルエンザ予防接種をしたことのある方は、1回

1回：8000円（税込）